

「森」と「粘土」のハイブリッド

—リグニンとクレイで創造する地域導入型新ビジネス—

開催要項

1. 主 旨：平成26年の秋、内閣府の戦略的イノベーション創出プログラム（S I P）の元、研究コンソーシアム「S I Pリグニン」は立ち上がりました。リグニンは木材の3割を占める成分で、森林国のわが国の貴重な自前の資源として期待されています。一方、粘土鉱物「クレイ」も国産の地域資源として開発が進み、コンソーシアム「Clayteam」により、革新的材な料開発が行われてきました。今、これら2つの地域資源が融合し、地方創生に直接貢献する新しい技術として芽生えつつあります。このシンポジウムでは、リグニンと粘土とのハイブリッドによる新材料や、それらを基盤とした地域導入型の新ビジネスを提案します。

主催：S I Pリグニン、Clayteam

国立研究開発法人森林総合研究所 国立研究開発法人産業技術総合研究所

2. 日時：平成28年10月18日（火） 13：30～17：15

3. 場所：三会堂ビル 9F 石垣記念ホール （東京都港区赤坂1-9-13）

4. 参集範囲：一般公開 参加無料（事前登録）

5. 会議日程

- 開会の挨拶 13:30～13:40
- 講演1 「未開の国産森林資源「リグニン」のポテンシャル」 13:40～14:20
S I Pリグニン研究代表（森林総合研究所 木材化学研究室長） 山田 竜彦
- 講演2 「国産資源「粘る土」を用いた革新材料」 14:20～15:00
Clayteam 会長（産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 首席研究員） 蛭名 武雄
- 開発した製品紹介と展示の案内 15:00～15:20
産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 機能素材プロセッシンググループ長 石井 亮
- ◇ 展示発表 15:20～15:50
- 講演3 「リグニン産業創出にむけた新たな林業の姿」 15:50～16:30
森林総合研究所 林業工学研究領域長 陣川 雅樹
- 総合討論 「地域導入型新ビジネスによる地方創生」 16:30～17:00
司会 森林総合研究所 研究ディレクター 木口 実
- 閉会の挨拶 17:00～17:15

シンポジウムURL：<http://lignin.ffpri.affrc.go.jp/news-event/7.html>

S I Pリグニン事務局：国立研究開発法人 森林総合研究所 木材化学研究室内

参加登録は下記メールアドレス宛に氏名および所属を御連絡ください。

なお会場の都合により180名を超えたら閉め切ります。ご了承ください。

e-mail: lignin2016@ffpri.affrc.go.jp